



# Ayase River Times

みんなで 「ほっと、いっしょに、いきいきと」  
~安心・信頼を大切に 共に考え・学び お互いの自己実現を目指します~

あいのわ福祉会

## <施設長より>

平成23年3月11日発生いたしました東北関東大震災に被災されました多くの皆様に心より御見舞い申し上げ、被災地の一日も早い復興を御祈り申し上げます。

3月11日14時46分、綾瀬あかしあ園の利用者さんの大半は帰宅のための通所バスに乗車中だった。施設では、揺れが治まった後職員二人一組ですぐに通所バス路線の逆方向から安否確認に出動したが、15時51分東京福祉バスからの連絡で全員の安否確認ができた。東京福祉バスの運転手さんと添乗員さん達の英断の下、殆どの利用者さんは最大でも30分程度の遅れで各ご家庭まで帰宅することができていた。東京福祉バスのスタッフの皆さんに職員一同心から感謝している。

地震発生時、地震の激しい揺れ、施設前の高速道路の高架を支える橋脚の軋む大きな音、そして大きく揺れる高速道路の外灯に足が竦んだ。想像したことはあるものの本当にこんなことがあるのだと自然の大きな力を再認識させられた。

後日NHKの福祉ジャーナルで震災時、震災後の被災した障がいの方々の様子を報じていた。重度身体障がい者の入所施設の中には、ALSの方の人工呼吸器が停電後は非常用発電機で12時間、その後はガソリンで動く発電機で4日間もたせ、発電機のガソリンがもうなくなるところで電気が回復したという施設もあった。高齢者や障がい者のための福祉避難所を設けた地域もあるようだった。一般の避難所に障がいの方々も多く避難されたようだった。しかし車椅子が使用できなかったり、自分仕様に使いやすく改良された自宅から離れることを拒んだ方々もおいでだったという。また、精神や知的な障がいをお持ちの方々は狭い避難所で時を過ごすことすらままならないのではないかと察する。身体に障がいをお持ちでオムツ使用だったり、摘便をしなければならない方々は狭い避難所の中でどんなお気持ちで過ごされたのかと思うと切なくなる。日頃ヘルパーさんの支援で一人暮らしをしている方々の中には一人で避難所に来られた方もおいでようだった。この先、自宅に帰れたとしても地域全体が被災している状況下で、ただでさえ不足しているというヘルパーさんを配置できるのかどうか、移動のためのガソリンを用意できるのかどうか等多くの課題がある。避難所には、知的・身体・精神、様々な障がいをお持ちの方々も多くおいでであることを地域の皆が認識しなければならない。

地震、津波、原発事故、複合的大震災、今、一国民としてできることに常時心掛けたい。

震災発生から6日目、エレベーターの前で「施設長、節電」と声を掛けられた。そうだ階段利用推進中だった。行動範囲が5階とは少し辛いが階段利用を続けなければいけない。でも3階建までにして欲しかった。



(太田 記)

## <事務室より>

3月11日の金曜日、通所バスに乗って自宅へ帰る利用者さんを見送ってから間もなく、日本を驚愕させるような大地震が発生するとは夢にも思いませんでした。ユラユラと園舎が揺れだし地震だと思いながらもすぐに収まるだろうと思っていたら、段々と揺れが強く長くなってきたので、ドアを開け隣を走っている高速道路を見上げると街路灯が弓なりに揺れていました。今まで感じたことのない大きな地震に建物が壊れないかと恐怖を覚えました。通所バスは無事に走っているだろうかと心配になりましたが、幸い利用者さんは全員が無事自宅に帰りついたことが確認できホッとしました。マグニチュード9.0という地震は東北から関東地方の海沿いにかけ、目を覆うばかりの惨状を引き起こしました。特に津波による被害が甚大だったようです。被災された方々に心からのお見舞を申し上げると共に一日も早い復興が出来るよう願っています。

(山中 記)



## <保健室より>

先日の地震以後、何となく揺れていると感じることはありますか？そんな時、『東北関東大震災以降、地震でもないのに揺れている感じがする、めまいがする、吐き気がするといった症状を訴える人が急増している』という記事をみつけました。この症状は繰り返し地震を体感したことによる「地震酔い」の可能性が高く、「後揺れ症候群」とも呼ばれるそうです。また、車酔いや乗り物酔いと同じようなものなので、車から降りれば治るように「地震酔い」の症状が出ても特に心配する必要は無いと言います。苦しければ乗り物酔いの薬を飲むという方法もありますが、できるだけリラックスする、運動をする、違った景色を見たりしてこれまでの感覚をリセットする、などが効果的です。

(野口 記)

## <2Fにこにこグループより>

今日は3月11日に東日本大震災があり、園でもバタバタと過ごす日々が続いていました。そのため、活動の内容等急な変更も多々あり、利用者の皆さんにとっても不安な日々だった事と思います。徐々に落ち着き始め、にこにこグループでは3月31日に行われる納め会の練習を始めています。こんな時だからこそ笑顔と元気で皆さんと一緒に乗り切って、良い納め会になるよう頑張ります！！

来年度も笑顔いっぱいのにこにこグループを宜しくお願ひ致します。

(小熊 記)

## < 3F ゆいま～るグループより >

平成22年度も残すところあと僅かとなりました。ゆいま～るグループでは、25日に納め会を予定しています。初めての試みですが、ケータリングサービスを利用することになりました。利用者のみなさんが食べたいものを叶えるのにはケータリングが良いと言うことになり、早速発注をかけました。当日はピザやシーフードドリア、ハンバーグなどなど駆走がいっぱいです。この1年を振り返る意味で撮り溜めた写真のスライドショーも行う予定です。ショーや横目にデザート作りも行います。イベント大好きなゆいま～るメンバーは今からワクワクしています。また来年度も楽しい企画を考えて皆さんと一緒に楽しみたいと思います。

(清水 記)



## < 4F グループより >

あっという間に1年が経ち、22年度が終わりに近づいています。4F グループでは1年を振り返り、23年度にやりたい事などについて話し合いました。中でも特に盛り上がった内容は外出活動です。少々気は早いのですが今から楽しみにしています♪ また、31日には納め会を行う予定です。お世話になったボランティアさんをお招きし、bingoやカラオケをして楽しく過ごし、22年度を締めくくる予定です。そして、4月から気持ちを新たにみんなでパワーアップした4F グループを目指して頑張りたいと思います。

(神宮司 記)

## < クラブより >



### ☆音楽・ダンスクラブ☆

最後のクラブでは、毎年恒例となった♥施設長の誕生日♥のお祝いをしました。その後に春の歌をグループ対抗イントロ歌当て！！童謡、80年代の曲、今流行りの曲まで皆で楽しみました。そして年度最後という事で・・・雛祭りケーキ☆男性はお内裏様ケーキ、女性はお雛様ケーキを食後に食べました。また来年も今年以上に盛り上がれるような企画を考えていこうと思います。

(中村 記)



### ☆スポーツクラブ☆

今年度最後のスポーツクラブでは、みんなで自分専用のスライムを作って、的当てゲームを行いました。前半にみなさんそれぞれでスライムを作ったのですが・・思うように作れず固いものやグニャグニヤなもの・・。悪戦苦闘して作ったスライムを、一投に込めて的に向かって投げました！ゲームの後には不二家のカッププリンを食べ、今年度のクラブ活動を締めくくりました☆

(二宮 記)

### ☆オトナクラブ☆

3月のオトナクラブは、イギリス生まれの小粋な大人のスポーツ『ダーツ』をやりました。支援員の手作りダーツではなく、本物のソフトダーツを業者からレンタルして行いました。ゲームはカウントアップというゲームをちょっと簡略化して行い、トーナメント形式で競いました。矢が小さくて持つのも投げるのも難しそうでしたが、みんな、なんとかダーツボードまで届くようにと必死に投げました。初めてダーツをやった方が多く、また、一步、大人の階段を上ったオトナクラブです。

(草野 記)



### 今月のボランティアさん

さて、今月のボランティアさんは何人？

2月19日～3月18日まで… 延べ 5人!!!

綾瀬あかしあ園では、日常的な活動をお手伝いいただけるボランティアさんを常時募集しております。詳細につきましては地域ボランティア担当 神野(じんの)・西川・尾臺(おだい)までお気軽にお電話でお問い合わせください。電話 03-5682-7272 (地域ボランティア担当)

## 4月の予定

1日 通所休み 4日 通所開始

6日 新利用者入所式 20日 全体保護者会



### <地震により被災された皆様へ>

東北地方太平洋沖地震の被害者の皆様に哀悼の意を表します。関東・東北の被災された方の無事を願うとともに、亡くなられた方のご冥福を心よりお祈りいたします。綾瀬あかしあ園 職員一同

### <訂正とお詫び>

本広報誌2月号、3月号の発行年に誤りがありました。

「2010年」→「2011年」です。訂正してお詫び申し上げます。



(広報担当)

### <編集後記>

今年度ももうすぐ終わり、新年度が始まります。来年度は「宿泊」を園全体で実施することとなり一大イベントとなりそうです。また希望者の「入浴」も日常活動の一環として新たに始まります。利用者さんも新しく3名の方を迎えます。新生「綾瀬あかしあ園」にご期待ください。

(橋本祥 記)